

# 鳥海イヌワシみらい館通信

Vol,21 2017年 新年号



鳥海イヌワシみらい館  
マスコットキャラクター  
「ワッシーくん」



バードウォッチングへの誘い⑳「酉年だヨ！全員集合」  
突撃！鳥海イヌワシみらい館④ 酉年記念！ 日本野鳥の会山形県支部長 築川堅治氏に聞く！  
イヌワシってこんな鳥⑯「イヌワシの繁殖成功率」

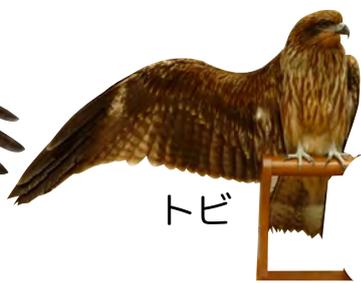
『トキ鳥海山遠望（2016年12月）』 鶴岡市にて



ミサゴ



ハチクマ



トビ



オジロワシ



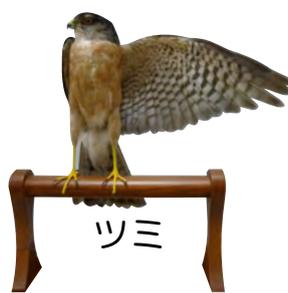
オオワシ



オオタカ



アカハラダカ



ツミ



ハイタカ



オオノスリ



ノスリ



サシバ



クマタカ

2017年は鳥業界にとっては12年に1度の当たり年。そもそも十二支の「酉」とは、「物事が頂点まで極まった状態」を表しているそうで、動物の鳥とは実は全く無関係だとか…。

バードウォッチングへの誘い②

# 酉年だヨ！ 全員集合

オキッス〜！



ピカリヤ長介さん  
※ピカリヤとは絶滅した巻貝化石で、岡山県が産地として有名です。

そんなことを言ってしまうと本末転倒ですが、今回は鳥海イヌワシみらい館に収蔵されている猛禽類の剥製全種を公開します！見分けの参考にしてみてくださいね！※サイズ比は違います。



カラフトワシ



イヌワシ



カンムリワシ



チュウヒ



ハヤブサ



チゴハヤブサ



コチョウゲンボウ



アカアシチョウゲンボウ



チョウゲンボウ



カタグロトビ



フクロウ



トラフズク



オオコノハズク



コノハズク



アオバズク

# 庄内の動物情報コーナー

東京では観測史上最も早い初雪を観測し、北海道では12月中旬としては最も多い積雪を記録した今シーズンの冬です。また全国各地で鳥インフルエンザの発生がニュースとなっています。大量に処分されてしまった鳥たちと苦渋の決断を迫られた養鶏農家、動物園の皆さんの事を考えますと心が痛みます。環境変化等にお気づきになりましたらmoukin@raptor-c.comまで投稿ください。



2016/11/6 「ナベヅル」 鶴岡市  
昨年「見たことのない鳥が田んぼにいます」という電話を別の方からいただきました。ツルは縁起の良い鳥だけにもっと普通に見られる鳥であってほしいですね。撮影：下本緑様



2016/11/6 「ハクガン」鶴岡市  
アヒル？いえ、白鳥やマガンの群れに交じっているガンのような鳥はハクガン。絶滅危惧 I A類の希少な鳥です。撮影：下本緑様



2016/11/6 「コチョウゲンボウ」秋田県にかほ市  
猛禽類の中でも特に名前と存在が知られていない種かもしれません。お食事の様子。撮影：ナッシーくん



2016/11/12「コミズク」 酒田市  
真昼間でもフクロウが見れるんです！こんなにかわいらしい鳥が見れるのも、秋冬限定ですから、ぜひ双眼鏡をもって外に出ましょう！撮影：阿部治雄様



2016/11/18「マガモ、コガモ」 鶴岡市  
湖面の紅葉と優雅に泳ぐ2羽のカモ。秋を感じさせる1枚です。撮影：毛呂様



2016/11/18 「ミサゴ」 酒田市  
白い下面、アイマスクとよだれかけ模様といえば水辺の猛禽ミサゴ。餌の魚を探しながら畑や水田地帯の上空をさまよっている姿を時々見かけます。撮影：佐藤忠昭様



2016/11/19 「ハヤブサ」 酒田市  
背中が真っ黒なので「どうせカラスでしょ」と思っていませんか？よく見れば眼の下にひげが伸びていて普段見ることの少ない猛禽類だったりしますよ。撮影：ナッシーくん



2016/11/19「オオタカ」 酒田市  
茶色の体なので「どうせトビでしょ」と思っていませんか？よく見れば白い眉毛があったりして普段見ることが少ない猛禽類だったりしますよ。コメントが雑？撮影：ナッシーくん



2016/12/3 「トキ」鶴岡市  
見事な鶺鴒色(ときいろ＝淡いピンク)。なぜか傍らにはアオサギが、常に仲睦まじく寄り添っていました。転校生に恋をする感覚でしょうか？わかる！わかるぞアオサギ！撮影：長船裕紀



2016/12/4「ユキホオジロ」 酒田市  
雪のように真っ白なホオジロの仲間。普段は北極圏に生息していますが、越冬期に主に北海道で見られます。しかし少数がこのような本州にやってくることもあります。撮影：長船裕紀



2016/12/11 「コクマルガラス」秋田県にかほ市  
カラスに見えないカラス。カラスの大群の中にご〜しだけ混じっていますので、探してみるのも面白いですよ！撮影：後藤勇様



2016/10/7 「ヒシナイワシ化石」秋田県にかほ市  
私が昨日食べたサンマの食べ残しのようですが、ヒシナイワシという魚類化石。今生きている動物たちも何万年後にはこういう形で、未来の人類に姿を表すのでしょうか。ロマンですね。提供：後藤勇様

# 突撃！鳥海イヌワシみらい館④



## 酉年記念！日本野鳥の会山形県支部長 築川堅治氏に聞く！

「オオコノハズク」撮影：築川堅治

「コウライウグイス」撮影：築川堅治

あけましておめでとうございます。今回の「突撃！鳥海イヌワシみらい館」のコーナーは、酉年にちなみまして日本野鳥の会山形県支部のドン、築川堅治さんに酉年の抱負と鳥業界のお話を伺ってきました。築川さんのお人柄を感じるインタビューとなりましたのでご覧ください。(山形弁で回答いただいております。)

### ～探鳥は生命や生き様を無条件に感じる～

本間) 築川さんの探鳥歴は何年になりますか？

築川) おかげさまで36年目だなぁ。

本) 築川さんが鳥好きになったきっかけを教えてください。

築川) ちゃこい(幼い)頃から生き物が好きで、鳥ば捕って飼ったりしたっけのったなねっす(飼ったりしてたんですよ)。ほして中2の時に野鳥の会の存在ば知って、当時日本野鳥の会山形県支部の支部長だった真木広造さんさ手紙書いて、すぐ入会したのよっす。おらい(我が家)のじいちゃんも野鳥の会さ入ったっけって言うし。お年玉貯めで双眼鏡と望遠鏡ば買いました(^)。

本) 築川さんの鳥ギャグも師匠譲りなんですか？

築川) いやいや、真木さんはほだなギャグやねっす(言いません)。よく「落研出身？」あて、やれっげんとも(なんて、いわれるけれども)、んねっす(違います)(^;。冗談言うの好きだし、つまらないダジャレでもそれを言うことで場が和んだりすっことがあんべっす？参加者の緊張をほぐしたり、笑いながら鳥のことを覚えてもらえたらなと思て、随時、ギャグを入れてます！時折、度が過ぎてますけど…(^;。



築川堅治氏講師による鳥海イヌワシみらい館での観察会の様子

本) アメリカのジェームズ・フィッシャー(有名なバードウォッチャー)は探鳥を「ある者にとっては科学であったり、芸術であったり、気晴らしであったり、仕事であったり、退屈なことである」と言っていますが、築川さんが考える探鳥の魅力、真髄はどういったものでしょうか？

築川) ないだて(なんだって)？ずいぶん難しいこと聞ぐんねがあ(^;ないでも(なんでも)奥は深いげんとも、ただ単に「めんどいなあ(かわいいな)」とか「カッコイイんねがあ〜い」とか「鳥さ生まんねくていがたず(鳥に生まれなくてよかった)」とか、仕草や行動の一瞬一瞬に「生命」や「生き様」を無条件に感じることだべが？四季折々、どこでも楽しめっしねっす。

本) 日本でバード・コンシェルジュを名乗っているのは築川さん唯一人だけのようにですが、どういったことをしているのでしょうか？

築川) 俺ばりだがは知やねげんと、山形県は鳥見人口は少ない

割にプロ率は異常に高いんだよねっす(^;)。まさか自分も鳥のプロになるとは思ってもみねがったげんとね。一人でも多くの人さ鳥見の面白さを伝えるためには、鳥全般のことについて幅広くやっていく必要があんべなあと思て、「鳥の案内人＝バード・コンシェルジュ」と名乗って日々楽しさ・面白さを伝えられるようにすっだいな(したいな)と思てよっす。2012年から名乗ってからて、「〇〇コンシェルジュ」では結構先駆けだべな。

本) 飛島人(とびしまんちゅ)も名乗っていますが、山形県酒田市の有人離島「飛島」出身なのですか？

築川) おいだば飛島の勝浦出身ださげの一・・・といたいところだんども、千葉県生まれでがんす。千葉→山形→宮城→山形と自らが渡り鳥ったなねっす。

本) 築川さんのお勧めする探鳥地・フィールドはどこでしょうか？

築川) 夏冬の北海道、冬の九州、春夏の琉球、三宅島や対馬、そして小笠原諸島など、色々な所さ行ったんども、やっぱり飛島が一番だの一。おすすめのフィールド？まずは自分の家の周りだべなっす。決まったフィールドは3年間通って見でけらっしやい。もちろんノートさ記録つけで。身近な鳥や自然を再認識することで見えてくるものはうがい(多い)のよっす。

本) 築川さんの好きな鳥は？

築川) ないでも(なんでも)好きだなぁ。ほん時ほん時(その時その時)、見た鳥が「いいなあ」て思うがらねっす。

本) 嫌いな鳥はいますか？

築川) 嫌いではないげんと、相性が悪くて幾度となくフラれている鳥はいます。あまり見られないので悔しいから「見ないようにしている鳥リスト」というのがあんのよねっす(^;)。

本) 最近こんな鳥が見れましたというのは？

築川) はいっ！その「見ないようにしている鳥リスト」No.3の「オガワコマドリ」ば、昨秋の飛島でついに！



「オガワコマドリ」撮影：築川堅治



「チゴハヤブサ」撮影：築川堅治

本) 築川さん注目の猛禽類は？

築川) 通称チゴハヤの「チゴハヤブサ」だべな一。庄内(山形県の日本海側)では、ほだい馴染みないべげんと、おらいのどさ(家の周りに)やんばい(ずいぶん)いだがらねっす。庄内で

も増えっだみだいだがらて、気いつけてけらっしゃい(気を付けて見てみてね)。ちなみに山形県で初めて繁殖したのは1989年山形市。当時こだい(こんなに)増えっとは思てねがったけなっす。



## ～鳥たちの代弁者に～

本) 40年近く野鳥を観察してきた築川さんですが、最近環境変化など感じることはありますか？

築) 河川環境など身近な自然が次々と無くなってらなっす。山も手入れすねがらて(しないから)荒れ放題。ちゃこい(幼い)頃聞いた小鳥たちのコーラスが今は聞かんねもねっす。便利な世の中になつた半面、失ったものはうがい(多い)べな。渡り鳥の楽園・飛鳥は、20年前は考えらんねがった南方系の鳥が増えっだし、「ほだな(そんな)珍鳥出ねず!(出ない!)」と思つてたド珍鳥も次々と記録さつでるし、気候変動が鳥たちの生息地や渡りに影響ば与えつた証拠だべなと思つてらなっす。いつか、人間にしっぺ返しが来んべな。

本) 日本野鳥の会山形県支部の展望をお聞かせください。

築) 入会した1981年のあたりは「みんなで楽しく鳥を見る」ことが主体だったげんと、環境悪化が進み、その頃よりは野鳥をはじめとした自然保護への積極的な関わりがかなり増え、苦言を呈しているがねど瞬間に鳥がいなくなる時代になつたもねっす。今まで以上に鳥たちの代弁者となつていがんねべな(いかないといけないな)！

本) 築川さんの2017年酉年の抱負は？

築) 2012年から録音ば始めたがらて(始めたので)、なるべく多くの種類とバリエーションば録音すつだいなっす(したいです)。バードウォッチングは「鳴き声」がとても重要！声で存在を知ることが圧倒的にうがい(多い)がらねっす。特に「地鳴き」には様々な意味があつて、声を知ることにより優しく楽しいバードウォッチングができるはず。録音することであることが見えてきたので、お勧めだなっす。



築川堅治氏の三種の神器

中央) ポケット図鑑は30年近く愛用している年代物！載っていない種があると自分で描いてページを追加してきたため、今では世界にたった一つの自分専用図鑑に。千葉県行徳で一度紛失するも名前を書いていたため奇跡的に戻ってきた運命の書。右) 録音用マイクは日本野鳥の会の松田さんより伝授されたオリジナルセット。左) 双眼鏡は頸椎ヘルニアによって体に負担の少ない軽いものをチョイス。

本) これからバードウォッチングを始めたいけどどうすればよいのか？という人に何かアドバイスはありますか？

築) んだねー、まずは探鳥会さ出てもらおうといいいんねべがね？鳥とか自然とか、よっぐと(よく)わがらねくても、さすけねえん

だっす(大丈夫ですよ)。スタッフの人はベテランだがらて、ちよつと見たばり(見ただけ)でも分かつて「えっ？なして、すぐ鳥わがんの？」あて(なんて)、たまげっぺげんと(驚くと思うけども)、「自分もあやんばいなっだいなあ(そうなりたいなあ)」て思ふ気持ち湧いてくつかもすんねし(しれないし)、ベテランもはじめはわがらねがった訳だがらねっす。自分で見つけて名前が分かつた時の喜びは格別！

本) 野鳥ファンの方々にメッセージをお願いします。

築) 写真を撮る人、近場で四季折々楽しむ人、全国津々浦々旅をする人・・・鳥の楽しみ方も色とりどり！どれが正しいということないのつたなねっす(正しいということはないんですよ)。しかし、基本は大事！20～30年前と比べつと機材が発達したがらて(したことで)、観察・撮影がほんてじょうさねぐなたまな～(本当に簡単になつた)。と同時に鳥ば「知やね(知らない)」人も増えつたなっす。単なる被写体として鳥ば捉えんのんなくて、その鳥の生命や存在する背景にあるものば感じ、読み取り、接して欲しいと思ふねっす。またそのような鳥見ば広めていくことが責務と感じつたなっす。野鳥は自然のバロメーターと言わつて久しいげんと、身近な自然が次々と失われていく現代。今いる鳥たちが、自然が、いつまでも残つているように観察を続けて記録を残し伝えていくことが大事だべな。

本) 新春ですから築川さんの夢などありますか？

築) 飛鳥でよりよく鳥見が楽しめるような仕組みば作たり環境ば整備すつことだべな！

本) 鳥海イヌワシみらい館に一言。

築) 観察会ば庄内以外でもやつてけらっしゃい！



鳥海イヌワシみらい館の観察会でも講師を務めていただいている築川さんですが、いつも渾身の鳥ギャグで参加者を笑わせつつ、しっかりとした普及啓発も忘れずに盛り込んでくださいます。東北で一番若い日本野鳥の会支部長として山形県の鳥業界を導く築川さんの探鳥会にぜひ参加してみてください。きっとあなたも築川さんの話術と鳥のトリコになるっべな！



築川堅治 (やながわ けんじ)  
1967年生まれ、千葉県出身。バード・コンシェルジュ。2008年より日本野鳥の会山形県支部長。日本野鳥の会山形県支部ホームページ  
<https://wbsj-yamagata.jimdo.com/>  
ブログ「バード・コンシェルジュとびしまんちゅの鳥いだがあ？」  
<http://tobishimantyu87.cocolog-nifty.com/blog/>

## ○猛禽類観察会「森の王者クマタカ」開催しました！

10月16日(日)、「森の王者クマタカ」と題し、森林に生息する希少猛禽類のクマタカの観察会を開催しました。講師は自然保護専門員の長船裕紀氏です。当日の山形県内の天候は見事な秋晴れで、絶好の観察会日和でしたが、対象のクマタカは森林性が強いこともあり、なかなか姿を現してはくれませんでした。講師によるクマタカの生態のお話や、調査でのクマタカにまつわるエピソードを、参加者も興味深く聞き入っていました。観察会も終盤となり、観察できないと諦めて帰り支度を始めたところにクマタカがペアで姿を現し、全員でその姿をじっくりと観察しました。希少野生動植物種にも指定されているクマタカですが、今回は観察についてのマナーや希少野生動植物種であることへの普及啓発も同時に行い、保護についての理解を深めてもらいました。参加してくれた皆さんありがとうございました。

当日観察できた鳥:クマタカ、ハヤブサ、ハイタカ、ツミ、ノスリ、カケス、ハシボソガラス、ハシボソガラス、モズ、キセキレイ、アオゲラ、ドバト、キジバト、サメビタキ、カワラヒワ 計15種



出現したクマタカ(上)  
参加賞のバッジを選ぶ参加者(下)

## ○猛禽類観察会「葦原の猛禽チュウヒ」開催しました！

11月13日(日)、葦原に生息する希少猛禽類チュウヒの観察会を開催しました。講師は自然保護専門員の長船裕紀氏です。チュウヒは葦原に生息することや、環境に合わせた体の特徴など特殊な生態を持っています。また葦原は河川敷に多いことから、必然的に私たちとの距離も近い存在でもあります。しかし、近年の調査からイヌワシよりも少ない繁殖個体数であることが報告され、絶滅危険度も「絶滅危惧 I B類」とされています。参加者にはチュウヒに迫る脅威と現在の保護対策について知っていただきました。参加してくれた皆さんありがとうございました。

当日観察できた鳥:ハイイロチュウヒ、トビ、ノスリ、オオタカ、ミサゴ、カワウ、ハシボソガラス、コガモ、カルガモ、コハクチョウ、カンムリカイツブリ、オオバン、ダイサギ、オナガガモ、オオセグロカモメ、カワラヒワ、ヒヨドリ、キジバト 計18種



葦原すれすれを飛ぶハイイロチュウヒ

## ○出張展示「やまがた環境展2016」出展しました！

11月19日(土)・20日(日)山形市の国際交流プラザビッグウイングで開催された「やまがた環境展2016」にブース出展しました。

当館のブースでは、イヌワシの生態を説明した展示パネルのほか、ハンズオンで触れて知ることができる展示物を並べ、さらにクイズ参加者にはバッジをその場でオーダーメイドでプレゼントする企画を実施し、多くの家族連れで賑わいました。リニューアルしたワッシーくんも登場し、子供たちから囲まれ記念撮影に応じました。

他にもステージイベントとして、恐竜のお話や落語、マジックショーなど家族で楽しめるイベントが盛りだくさんで、2日間で2万名近い来場者があり大変賑わったイベントとなりました。多くの人にイヌワシや猛禽類について知っていただく機会になったと思います。

来場してくれた皆さん、ありがとうございました。



展示ブース(上)  
バッジのオーダーメイドコーナー(下)



初お披露目のワッシーくん3号

# イベント開催報告

## ○八幡地区、日向地区文化祭へブース出展しました！

10月29日(土)、30日(日)、31日(月)鳥海イヌワシみらい館の地元、酒田市八幡地域の文化祭へブース出展しました。今年の春に開催した「ミサゴ展」からミサゴのエサ取りゲームやイヌワシの生態ミニ展示を出展しました。大勢の子供たちに遊んでもらいました。いつかミサゴという鳥がいることを思い出していただければと思います。

11月5日(土)は鳥海イヌワシみらい館がある日向地区の秋祭りにブース出展しました。イヌワシのエサ動物をテーマに、はてなボックスの中にエサ動物に関する「何か」を入れ、箱の中身を触りながら何かを当ててもらうものです。触ればすぐにわかってしまうものから意外なものまでドキドキの内容に来場者も楽しんでいました。来場してくれた皆さんありがとうございました。



## ○猛禽類観察会「最上川河口鳥獣保護区」開催しました！

12月11日(日)、酒田市にある最上川河口鳥獣保護区の観察会を開催しました。講師は自然保護専門員の長船裕紀氏です。最上川河口鳥獣保護区は鳥海南麓自然保護官事務所の管轄であり、この観察会では野鳥の生息状況のほか最上川河口鳥獣保護区の制度についても知ってもらおうという内容で開催しました。

当日はあいにくの天気でしたが、鳥獣保護区内を歩きながら観察をしました。途中ハクチョウやカモ類のほか、猛禽類ではオジロワシが出現しました。開始からまもなく暴風雪が強くなった為、途中から室内にでの講座となりました。

開催の直前に、県外各地で鳥インフルエンザの発生が報告されていましたが、開始・終了時に防疫対策として足裏、手などの消毒を通じ、鳥インフルエンザについて正しい知識と対応方法についても盛り込んだ内容になりました。参加してくれた皆さんありがとうございました。

当日観察できた鳥:オジロワシ、ノスリ、トビ、オオハクチョウ、コハクチョウ、ヒシクイ、オナガガモ、アカゲラ、マガモ、カワウ、カモメ、スズメ、モズハクセキレイ、ハシボソガラス、ミヤマガラス、カシラダカ、計17種



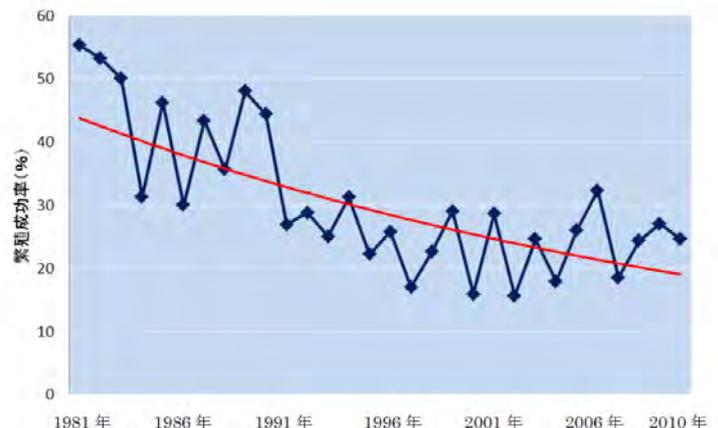
カモとオジロワシ(上) 室内での講座(下)



## イヌワシってどんなワシ? ⑩ 「イヌワシの繁殖成功率」

ここ猛禽類保護センターには「鳥海イヌワシみらい館」という愛称がついていますが、イヌワシって何?と思う人や図鑑でしか見たことがない人もいます。シリーズ16回目は「イヌワシの繁殖成功率」について紹介します。

イヌワシの今後を語る上で最も重要なものが「繁殖成功率」(巣立ちした幼鳥の数÷ペア数)という数値です。これは「その年にどれくらいの幼鳥が巣立ちをしたか」ということですが、動きがあって調査の難しいイヌワシの生息数を巣立ちの段階で把握し、生息環境の健全さを知ることができることも重要な数値です。イヌワシの繁殖成功率は1980年代に50%近くあったものが、1990年代に入ると低下の一途をたどり、年によっては20%を切ることも珍しくなっている状況です。生物がその種を存続させるためには約30%の繁殖成功率が必要(由井2007の修正値)であると言われており、イヌワシはまさしく絶滅に向かっていく野生動物といえるのではないのでしょうか。どういったことが影響して減少しているのかはまた次回紹介いたします。



「イヌワシの繁殖成功率の経年変化」  
猛禽類保護の進め方改訂版より

# イベント情報コーナー

## ○猛禽類観察会「冬のワシ・タカ探し」

バードウォッチングは冬が楽しい！シベリアからやってくるオオワシ、オジロワシなど大型の猛禽類のほか、水鳥たちもあわせて観察します。

期 日 平成29年2月12日（日）  
時 間 9：00～12：00  
場 所 参加者にお知らせします。  
定 員 先着15名  
参加費 一人300円（保険・資料代）  
講 師 宮川道雄氏（鳥獣保護区管理員）  
持ち物 防寒着、双眼鏡（貸出可）、マイカップ、筆記用具  
募集期間 1月16日（月）～2月9日（木）午後5時まで  
お申込み・お問合せ TEL 0234-64-4681（鳥海イヌワシみらい館）  
E-mail: moukin@raptor-c.com



## ○猛禽類観察会・講習会「闇夜の猛禽フクロウ」

フクロウは、闇夜に順応して進化した最強のハンターです。備わった多くの特殊な身体能力で獲物を捕まえます。フクロウの生態と保護に迫る観察&講座です。※フクロウを必ず観察できるものではありません。

期 日 平成29年3月11日（土）  
時 間 17：00～20：00  
場 所 参加者にお知らせします。  
定 員 先着15名  
参加費 一人300円（保険代・資料代）  
持ち物 防寒着、双眼鏡（貸出可）、マイカップ、筆記用具  
募集期間 2月16日（木）～3月9日（木）午後5時まで  
お申込み・お問合せ TEL 0234-64-4681（鳥海イヌワシみらい館）  
E-mail: moukin@raptor-c.com



## ●ワッシーくん（着ぐるみ）リニューアル！

約4年間もの間数々のイベントに出演してきたワッシーくんの着ぐるみ(2号)も尾羽が取れたり、脚に穴が開いたりなど様々な問題を抱え満身創痕となっていました。そこで年度初めより「やまがた環境展」に向けてリニューアルしようという事となり、構想を進めてまいりましたが、ついに3代目ワッシーくんが完成しお披露目することができました。コロンとした姿が子供たちにも人気を博しています。今後、猛禽類の普及啓発イベント等に参加していくこととなりますが、2代目も完全に引退ではなく、場合によっては出動する機会があるかと思っておりますので、2代目、3代目ともに各会場で見かけましたらお声かけ下さい！



数々のイベントで活躍した2号



秋にお披露目された3号も人気！



Illustrated by Masami Tsuno

©鳥海イヌワシみらい館

### 普及啓発担当

あけましておめでとうございます！2016年は月一観察会でやってきましたが、2017年は酉年記念イベントしたいですね！（本）

### 事務局

→そうですね！大勢の来館者をトリ込む1年になればと思います。（村）

### 自然保護専門員

そうだ！トリあえず鳥を見に行こう！（長）

### 鳥海南麓自然保護官

あけましておめでとうございます！今年もよろしく願います。（鎌）

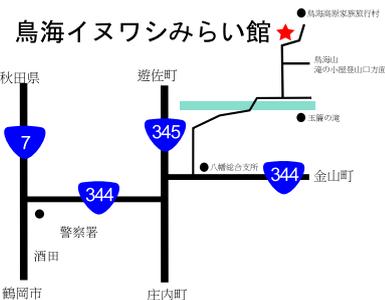
## 編集後記&施設情報

### 鳥海イヌワシみらい館 1月～3月の開館情報

開館時間・・・9：00～16：30  
入館料・・・無料  
休館日・・・1～2月：火、土、日、祝  
3月：火  
臨時休館日はホームページにてお知らせします。  
ホームページアドレス：<http://www.raptor-c.com/>

### 猛禽類保護センター

〒999-8207  
山形県酒田市草津湯ノ台71-1  
TEL 0234-64-4681 FAX 0234-64-4683  
E-mail: moukin@raptor-c.com



鳥海イヌワシみらい館通信  
Vol.21 新年号

発行：猛禽類保護センター活用協議会  
（事務局 鳥海イヌワシみらい館内）